



こうなん未来デザイン会議

～総合計画市民ワークショップ～

江南市 企画課

SDGs
未来都市
こうなん

実施報告書

令和8年10月

【目次】

1	市民ワークショップの概要	-1-
2	市民ワークショップの結果	-2-
	(1) ステップ①私たちのミライの暮らしを考える	-2-
	(2) ステップ②江南市のミライのすがたを考える	-4-
	(3) まとめ	-5-
3	アンケートの実施	-6-

1 市民ワークショップの概要

(1) 趣旨

第7次江南市総合計画策定にあたり、市民が対話を通じて将来のビジョンを共有することで、地域への愛着と主体的な参画を促進すると同時に、市職員が議論に参加して行政課題と市民ニーズの整合を図ることで、より実効性の高い計画の策定につなげるもの

(2) 実施概要

項目	内容		参加人数
開催 場所・ 日時等	KTX	① 8月26日(水) 午後6時半～8時半	14名
	アリーナ	② 9月16日(水) 午後6時半～8時半	7名
	平和堂	① 9月5日(土) 午前10時～正午	13名
	江南店	② 9月19日(土) 午前10時～正午	11名
	地域交流 センター	① 9月12日(土) 午前10時～正午 ② 9月26日(土) 午前10時10分～正午	7名 7名
テーマ 設定	「江南市の中のミライのわたし～2050年はこうなんだ!～」 ステップ①わたしたちのミライの暮らしを考える ステップ②江南市のミライのすがたを考える		
参加者	市民(市内在住・在勤)、市職員 市ホームページ、広報こうなん8月号にて募集		

(3) 計画への反映

市民ワークショップで得た意見は、以下のプロセスを通じて総合計画に段階的に反映

各段階の役割	実施主体	内容
①市民 ワークショップ	市民、市職員	市民の率直な意見・アイデア聴取
②意見集約	市(企画課)	出された意見を市民会議等で練り上げるため分類・整理・分析を実施
③市民会議での 協議	市民会議委員 ・市職員	ワークショップの意見を基に、総合計画の方向性を検討し、江南市の目指すべき将来像に市民の声を統合
④施策検討 ・基本計画策定	市職員	将来像を踏まえ、事業・施策を行う上での方向性を基本計画に整理

(4) その他

- ・江南市SDGsパートナーが有する資源の活用

(平和堂江南店が運営する地域共創スペース「レンタルスペース co. 江南」での開催、平和堂江南店の協賛により飲食の提供及び、店舗内スペースにてアンケート実施)

2 市民ワークショップの結果（主なもの）

(1) ステップ①私たちのミライの暮らしを考える

《カテゴリー「住みやすさ・生活・経済」》

推し	モヤモヤ
クリニック、ドラッグストアが多い	若い人が楽しめる場所がない
住みやすい静か適度な田舎	駅までの交通手段（公共交通機関）
布袋駅が新しくてきれい	自習室、学習室が少ない
都市部へのアクセスの良さ	主要道路が渋滞
パンがおいしい	自転車専用通行帯がもっと欲しい
坂が少なく歩きやすい地形	他市町から人が来る場所がない
図書館が 20 時まで開いている	江南駅前

キャッチフレーズ

(推しがより魅力的に、モヤモヤが解消された 2050 年のキャッチフレーズ)

- ・交通も市民の心の距離もアクセスのよいまち
- ・ほしいがすぐある街こうなん
- ・広い図書館カフェたくさん学生の理想郷江南市

《カテゴリー「観光・イベント」》

推し	モヤモヤ
藤まつり	すいとぴあ江南の活用
秋の花火大会	木曾川、川遊び
盆踊りが独特	PR、発信力が弱い
市民文化会館大ホール	市民の意見を反映した行事が少ない

キャッチフレーズ

(推しがより魅力的に、モヤモヤが解消された 2050 年のキャッチフレーズ)

- ・プラスが増えそうなまち江南市
- ・Work, Live, Love ずっと江南で

《カテゴリー「交通」》

推し	モヤモヤ
電車の利便性が良い	道が煩雑、道路がわかりにくい
自転車で動きやすい	駅前の渋滞
高速インターが近い（小牧、一宮）	バス路線が少ない
平野、坂のないまちですみやすい	江南駅前がさみしい
布袋地域に活気がでてきている	自転車の走行が危険
サイクリングロード	交通アクセスのよくない地域がある

キャッチフレーズ

（推しがより魅力的に、モヤモヤが解消された 2050 年のキャッチフレーズ）

- ・人が集まる人が動く江南が変わる
- ・出かけたが暮らしたいこうなん
- ・山へも名古屋へもすぐに行ける便利な木曽川沿いの江南市

《当日の様子》



（２）ステップ②江南市のミライのすがたを考える

《テーマ「防災」》

キャッチフレーズ	揺るがない地盤と暮らし 未来へ続くつよいまち江南
キャッチフレーズ を実現するための 施策	・ 災害リスクが少ないことを活かした定住促進 ・ 井戸水の保護 ・ 耐震性の高い住宅購入への補助金 ・ ポータブル電源購入への補助金

《テーマ「子育て」》

キャッチフレーズ	ミライの江南を子どもたちの笑顔から
キャッチフレーズ を実現するための 施策	・ 有料 AI を使用した実用的な教室 ・ 学校区ごとの学習スペース ・ 大学生の学費支援制度 ・ イベントなどが行えるレンタルスペース

《テーマ「学び」》

キャッチフレーズ	こうなんで学べば最高なん！
キャッチフレーズ を実現するための 施策	・ 学生の交換授業 ・ 小学校対抗の運動会 ・ 盆踊りを年配の方に教えてもらう ・ 校区毎で年代別対抗のイベント

《当日の様子》



(3) まとめ

全体的な傾向

大項目	肯定的意見	課題・不満	共通の要望
住みやすさ・生活基盤	駅・交通の利便性、図書館・病院の充実、自然環境（山・フラワーパーク）	公園・遊び場不足、カフェや学習スペースの少なさ、子育て支援が手薄	子どもと若者が利用しやすい公共空間の増設
交通・アクセス	電車で名古屋へ30分以内、サイクリングロード	自転車レーン不足、駅前渋滞、バス路線少、駐輪場遠い	自転車レーン拡充、駅前の多機能拠点化、公共交通の利便性向上
イベント・文化	夏祭り・藤まつり・花火大会、文化ホール・コンサート	大規模イベント・観光資源が少ない、文化的雰囲気薄さ	文化・芸術イベントの連続開催、地域ブランド化
環境・ごみ・防災	細かいごみ分別、災害に強い地形	ごみ分別の手間、道路の花壇未整備、災害対策情報不足	リサイクルステーションの利便性向上、災害避難所・防災公園の整備
子育て・福祉	医療機関の充実、保育園・学童の存在	子ども向けの遊び場・施設不足、保護者支援が不十分	保育・学童施設の増設・共生化、子育て世代への助成拡充

「住みやすさ」と「交通利便性」が多く評価される一方で、「公共空間の充実」と「子育て支援」が課題としてあがりました。

参加された方の多様なアイデアが集まり、今後の江南市への前向きな期待が感じられるワークとなりました。

3 アンケートの実施

(1) 実施概要

内容	・平和堂での開催に併せ、フードコート入口にてアンケートを実施 ・回答者にはサイコロを振ってもらい、サイコロの出目に応じた景品（お菓子等）を提供
アンケート	①市が今よりも住みやすくなるために、何が充実すると良いと思いますか。 ②江南市といえば〇〇！

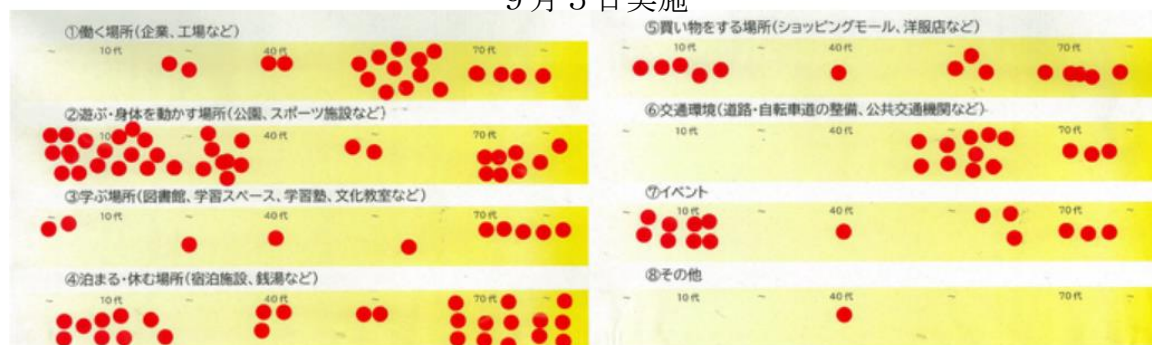


(2) 結果

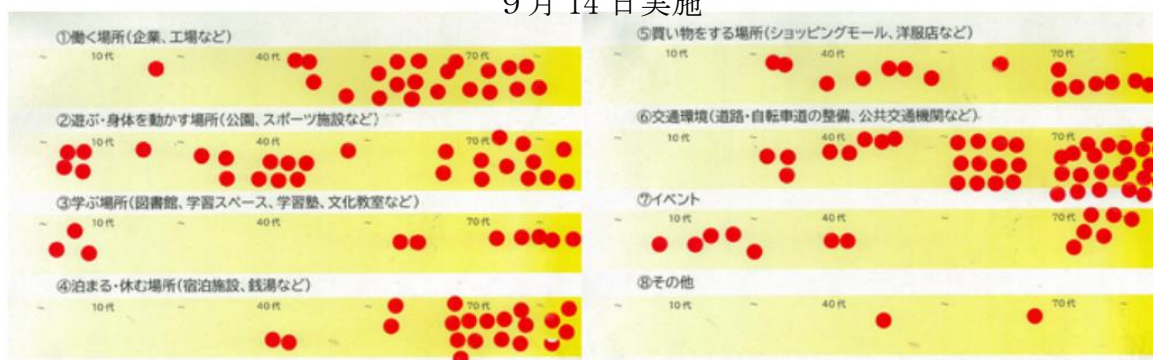
①市が今よりも住みやすくなるために、何が充実すると良いと思いますか。

最も当てはまるものを選び、シールを1枚貼ってください。

9月5日実施



9月14日実施

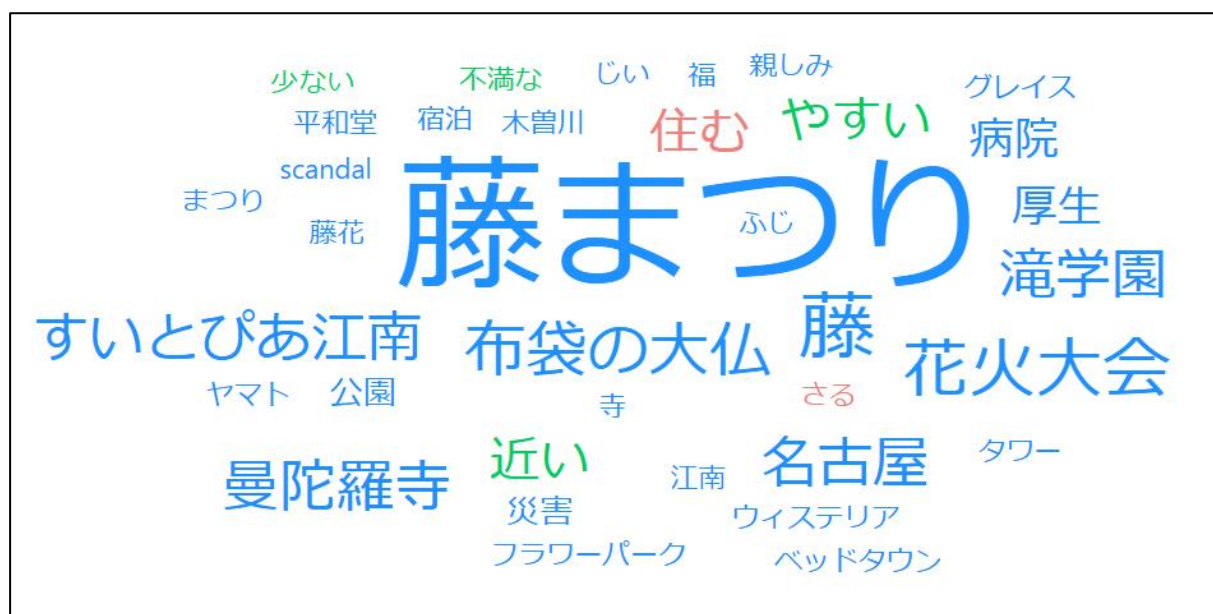


左（～10代）から右（70代～）までの世代別にシールを貼っていただきました。

みなさんの思う江南市を一言で教えてください。

122 枚

149 枚



全ての回答から作成したワードクラウド

(ワードクラウドとは、文章中の頻出単語を文字の大きさに応じて視覚化し、テキストの概要を直感的に把握するための分析手法です。)

- ・ 文字列の大きさ ・ ・ 出現回数が多いほど大きく表示しています。
- ・ 文字列の色 ・ ・ ・ ・ 出現箇所が近いものを同系色表示しています。